

## 製品・サービス動向-国内

## ■ コミュニ クラウド ジャパン、クラウドビデオ会議サービス「InViewUC」を日本市場で提供開始

(Value Press!：7月1日)

コミュニ クラウド ジャパン株式会社 (<https://communicloud.co.jp/>) (神奈川県横浜市) は、クラウドビデオ会議サービス「InViewUC(インビュー・ユー・シー)」の日本での提供を正式に開始する。

InViewUC は、インターネット経由で、映像・音声・資料のやり取りができるクラウドタイプのビデオ会議接続サービス。コミュニ クラウド ジャパンの本社である Communicloud Pty Ltd (豪州) が2010年以降提供しているサービス。



InViewUC 利用イメージ (コミュニ クラウド ジャパン)

Polycom、Cisco、LifeSize といったビデオ会議端末をはじめ、パソコン・スマートフォン・タブレットといったさまざまなデバイスのほか、マイクロソフト「Skype for Business」などのアプリからの接続をサポートしている。

それぞれの主催者(ホスト)に専用のバーチャル会議室が提供されており、操作方法を簡略化し、予約なしで利用できるため、24時間いつでも好きな時にビデオ会議を開催できる。ユーザは、いつでも、どこでも、誰とでも、ビデオ会議が簡単にすぐに行えるところが InViewUC の特徴といえる。

「予約の時間を省きたい」「ビデオ会議を、電話会議や Web 会議のような手軽さで利用したい」というユーザのニーズにこたえる。

1 ホストライセンスあたり月額 14,800 円、最低 5 ライセンスから契約できる。1 会議あたり最大 25 端末まで接続可能となっている。参加者はライセンス不要で誰でも参加できる。主宰者は制限なく、月に何度でも会議を開催できる。

この InViewUC サービスは、アジアパシフィック地域において唯一、ポリコム社のクラウドパートナー (Polycom-powered Video-as-a-Service (VaaS) Partner) として認定されているという。

Communicloud 社としては、日本を大変重要な市場と位置付けており、アジア/パシフィック地域への事業展開の第一歩としたいと考えている。中堅企業および大企業向けをターゲットとしており、操作画面の日本語化や、国内での顧客サポートを通じて、日本企業のビジネスニーズに対応できるよう、製品開発に取り組んでいく。

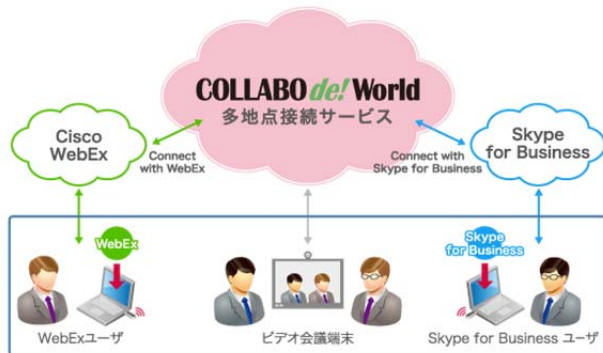
※関連記事：2016年3月15日号

## ■ IJ グローバル、クラウド型ビデオ会議サービス「COLLABO de! World」において「Microsoft Skype for Business」との相互接続サービスを提供開始

(7月6日)

株式会社 IJ グローバルソリューションズ (<http://www.ijglobal.co.jp/>) (東京都千代田区) は、クラウド型ビデオ会議サービス「COLLABO de! World(コラボ デ ワールド)」のラインナップを拡充

し、マイクロソフトのコミュニケーションプラットフォーム「Skype for Business」との相互接続サービス「COLLABO de! World Connect with Microsoft Skype for Business オプション」を7月6日より提供開始する。



#### COLLABO de! World(IIJ グローバルソリューションズ)

COLLABO de! World は、IIJ のクラウドサービス「IIJ GIO(ジオ)サービス」の基盤上で提供するクラウド型のマネージドビデオ会議サービス。ビデオ会議の利用に必要な端末のレンタルのほか、複数の拠点を同時接続するための多地点接続サービスやヘルプデスクなどがパッケージ化されており、ユーザは利用端末をインターネットやWANに接続するだけですぐに利用できる。

今回発表された、オプションは、シスコシステムズが提供する「acano」をCOLLABO de! Worldの基盤に追加することで実現している。Skype for Businessを使用しているユーザは、端末側の設定変更や専用ソフトウェアを追加することなく、クラウド上のゲートウェイを介して、COLLABO de! Worldのビデオ会議に参加することが可能になる。

メリットとしては、場所にとらわれず、異なるコミュニケーション基盤、利用端末(PC、タブレット、スマートフォン)からCOLLABO de! Worldのテレビ会議システムを、統合されたひとつのサービスとして利用できるとしている。

IIJ グローバルソリューションズは、法人向けWANサービス事業等を展開している、株式会社インター

ネットイニシアティブ(東京都千代田区)の100%子会社。

## ビジネス動向-海外

### ■ポリコム社：マイテル社との合併合意を打ち切り、Siris Capital社との合併合意の協議を開始

(米国：7月8日、ポリコムジャパン：7月13日)

ポリコム社(<http://www.polycom.co.jp/>) (米国・カリフォルニア州)は、同社の取締役会が、4月に発表したMitel Networks Corporation社(以下、マイテル社)との合併合意の解除を承認したと発表。

マイテル社との合併合意の中、7月7日Siris Capital社から、ポリコム社の取締役会は拘束力のある一方的な提案を受けた。それは、Siris Capital社がポリコム社の普通株全てを1株当たり現金12.50米ドルで取得するというもの。Siris Capital社は、テクノロジーおよびテレコミュニケーション関連企業の買収を目的として展開している未公開株式投資会社(private equity firm)。

その提案を受け、ポリコム社の取締役会は検討した結果、Siris Capital社の提案が「Company Superior Proposal(会社にとってより優れた提案)」に該当すると判断。

一方、マイテル社は、7月7日、ポリコム社取締役会の決定を受領し、ポリコム社との合併合意を再交渉する権利を放棄した。

これにより、ポリコム社が合併合意を解除するための契約解除料をマイテル社に7月13日に支払い、その直後、Siris Capital社との合併合意の協議を開始する(プレスリリース発表時点では“予定”)。

ポリコム社とSiris社との間の新しい合併合意の下では、合併成立時にポリコム社の発行済株式は、1株あたり現金12.50米ドルと交換される条件が提示されている。Siris社との合併は、株主および規制当局の承

認を含め、習慣的な成立条件を満たした後、2016 年第 3 四半期に成立する見込み。

これに関連して、マイテル社との合併合意を解除したことから、ポリコム社は、7 月 29 日に開催予定の、マイテル社との合併について投票するための特別株主総会を中止とした。

なお、マイテル社との合併合意協議が進行中、Siris Capital 社は、ポリコム社が米国証券取引委員会に以前提出した書類では「スポンサー 1」として記載されていた。

【参考】Wainhouse Research : News Update - Siris Capital Group to Acquire Polycom (WR シニアアナリスト & パートナー Ira Weinstein 氏が分析。youtube 映像 : 3 分 17 秒)  
<https://youtu.be/mUz9uuzpqvM>

## ■Arkadin 社と Pexip 社:戦略的なパートナーシップ締結、より品質の高いミーティングエクスペリエンスを提供へ

(7 月 12 日)

Arkadin 社(<https://www.arkadin.com>) (米国・ジョージア州) と Pexip 社 (<https://www.pexip.com/>) (ノルウェイ・オスロ) は、戦略的パートナーシップを締結した。

このパートナーシップによって、Arkadin 社は、Pexip 社のミーティングプラットフォーム「Pexip Infinity」を採用。Pexip 社のプラットフォームと、Arkadin 社のグローバルに構築された UC&C (ユニファイドコミュニケーションズ&コラボレーションサービス) アーキテクチャーと顧客サポートを組み合わせることで、Arkadin サービスのユーザに対してより品質の高いミーティングエクスペリエンスを提供しつつ、コスト削減や UC&C 投資の ROI の向上に貢献することができるとしている。

Arkadin 社は、NTT コミュニケーションズ グループ企業の一社。Fortune 500 社を含めた世界 5 万社以上の企業に UC&C サービスを提供している。33 か国に 56 か所のオペレーションセンターを設置しており、19 か国語で顧客のサポートをしている。Arkadin 社の日本法人は、アルカディン・ジャパン株式会社 (<https://www.arkadin.co.jp/>) (東京都港区)。

Pexip Infinity は、企業のコミュニケーションをシンプルにすることをコンセプトに開発された拡張性の高いミーティングプラットフォーム。既存のテレビ会議や「Skype for Business」など多様なデバイスやアプリとの相互接続を可能としており、パブリック・プライベート・ハイブリットの各クラウドでの運用が可能だ。Fortune 500 社に該当する企業でも利用されており、多くの VCaaS (Videoconferencing as a Service) プロバイダーへサービスプラットフォームとしても提供されている。2015 年の売上は対前年比 300%を達成した。本社は、ノルウェイ・オスロ、ロンドン、ニューヨークが主要オフィス。社員数は 80 名。

## セミナーレポート-国内

### ■メディアプラス : Pexip Infinity や同社独自開発の運用システム「VMR オペレータ Pro」を紹介したビデオ会議 新技術セミナー 2016 を開催

(取材:6 月 3 日)

株式会社メディアプラス (<http://www.mediaplus.co.jp/>) (東京都千代田区) は、6 月 3 日都内にて、VMR プラットフォーム「Pexip Infinity」と同社独自開発のビデオ会議運用ツール「VMR オペレータ Pro」など最新情報やデモの紹介をする、「ビデオ会議 新技術セミナー 2016 ~Office365 時代のビデオ会議運用、課題と解決~」を開催した。



セミナー会場の様子（メディアプラス）

Office365 の普及によって続々と大企業がビデオツールとして「Skype for Business」を導入しはじめているという。「1年で6倍に拡大している。まさにビックウェーブだ。」(取締役技術部長 築瀬 敦 氏)しかし、既存のポリコムやシスコシステムズなどのビデオ会議システムとの統合においてはまだまだ課題が多いという。

Pexip Infinity は、PC、スマートフォン、タブレット、音声、ビデオ会議システムなどのさまざまな異なる端末を VMR (Virtual Meeting Room) 上でシームレスに統合 (相互接続) するソフトウェア製品だ。またその VMR の一部の機能を切り出した形のマイクロソフト「Skype for Business」用ゲートウェイ製品としても活用できるとしている。

VMR はその提供する機能から、従来のビデオ会議システムで活用されているハードウェア型の多地点接続装置「MCU」とよく比較されることが多いという。従来の MCU は、装置毎に接続数が異なり拡張するのは簡単ではない。しかも、ゲートウェイ、ゲートキーパーなどの機能は個別に追加する必要がある。

一方で 100%ソフトウェア製品である VMR は、ビデオ会議接続に関わる全ての機能が含まれており、また、Intel サーバ上に仮想化基盤を構築しその上にインストールするソフトウェアであるため、理論上は“無限

に拡張できる”メリットもある。

VMR は、ライセンス管理に関する「マネージメントノード」と会議自体の接続をつかさどる「カンファレンスノード」で構成されている。

この2つのノードをインストールした複数のサーバを分散的に配置する中でシームレスに組み合わせる (自動カスケード機能) ことで、ユーザからするとひとつの VMR として稼働させることができるようになっている。加えて、拡張にともなう帯域の増大に対しては、「スマートメディアルーティング」でサーバ間の帯域を節約する仕組みも合わせて提供している。

これらの他、「External Policy Server API」、ストリーミング (Youtube など RTMP 対応)、「Skype for Business AVMCU」、「Pexip Edge」なども紹介した。

Pexip Infinity は、H.265 や VP9、マイクロソフトの ORTC などにも対応しており、この秋には、性能・機能などをさらに強化した「Pexip Infinity Version 13」も予定されているという。

VMR の説明を一通りすませたところで、築瀬氏は、ポリコム、シスコ、ライフサイズ各社のテレビ会議端末、WebRTC クライアントなどを VMR 上で接続するデモと、アマゾン ウェブ サービス (AWS) に Pexip Infinity をインストールして稼働するまでところのデモを紹介した。VMR 上の接続はスムーズに行われ、AWS への Pexip Infinity のインストールは 30 分ほどの時間で使える状況になった。

築瀬氏の講演のあとは、常務取締役 営業部長 菅野尚子氏により、ビデオ会議運用の課題解決をテーマとした講演が行われた。

ビデオ会議の導入に際しては、社外との会議をおこなったりすることによるセキュリティや、会議の予約や制御に人が作業して対応しているといった人力運用による管理者の負担などが課題として挙げられるという。今後、ビデオ会議の運用が拡大すればますますこれらの課題は大きくなるかもしれない。

そこで、メディアプラスでは、Pexip Infinity とシームレスに連携ができるビデオ会議運用システム「VMR オペレータ Pro」を提案する。これにより、ビデオ会議システムの運用に、安全・便利・簡単といったメリットをもたらすとしている。

操作は PC のみならず、iOS や Android 端末からも可能だ。特徴としては画面のレイアウトサイズに応じて表示サイズの調整を自動に行ってくれる。また、Active Directory との連携や、Exchange/Outlook との連携にも対応しており、今後、それら以外の企業内のさまざまな業務システムとの連携も視野にあると今後のロードマップも紹介した。

なお、VMR オペレータ Pro は有償だが、Pexip Infinity を導入すると VMR オペレータ Lite が無償でつくという。

同社としては、相互接続上の課題やビデオ会議導入にまつわる運用の課題の解決をテーマに今回セミナーを開催した。今後、Pexip Infinity と VMR オペレータがそれらの課題を解決する有力なソリューションになると提案する。

## Report

※CNA レポート・ジャパン橋本啓介による検証レポート

■ブイキューブ：会議室設置型テレビ会議システム「V-CUBE Box」の設置・操作の“簡単さ”を検証する

<https://blog.vcube.com/evaluate-v-cube-box-by-cna-report-japan.html>

■ブイキューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証（前編）

<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-1>

■ブイキューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証（後編）

<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-2>

■パイオニア VC：“ものづくり”の現場を支える、遠隔コラボレーションシステム「xSync Prime Collaboration」取材レポート

<https://blog.vcube.com/xsync-prime-collaboration.html>

## PR

(広告掲載順)

■株式会社日立ハイテクソリューションズ  
(テレビ会議ソリューション Acano)

<http://www.hitachi-hightech.com/hsl/products/ict/hightech-vision/acano.html/>

■ヤマハ株式会社

(USB スピーカーフォン FLX UC 500)

[http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx\\_uc\\_500/](http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/)

■株式会社メディアプラス

(ビデオプラットフォーム Pexip Infinity、VMR 運用ツール VMR オペレータ)

<http://www.mediaplus.co.jp/products/Pexip/>

■株式会社ブイキューブ

(テレビ会議システム V-CUBE Box)

<https://jp.vcube.com/service/box/>

## セミナー・展示会情報

### <国内>

#### ■『今、ビデオ会議はここまで出来る！』

基本的なことから、最新の便利機能までご紹介します！』

日時：7月21日(木)10:00～(所要時間30分を予定)

会場：ウェビナー(オンライン)

主催：ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込：<http://www.polycom.co.jp/company/events.html>

#### ■【東京開催!!】失敗しない「Web会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー～ビジュアルコミュニケーションツールの選び方についてデモを交えてご紹介～

日時：7月26日(火)第1回：13:00～14:30(受付：12:30)

第2回：16:00～17:30(受付：15:30)

※各回ともに同じ内容。

会場：ブイキューブ東京本社(東京都目黒区)

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：[https://jp.vcube.com/event/seminar/20160608\\_1000.html](https://jp.vcube.com/event/seminar/20160608_1000.html)

#### ■Office365に加えたい、たった1つのコラボレーション連携機能体験セミナー

日時：8月4日(木)、18日(木)、25日(木)

16:00～17:30(受付開始：15:45～)

会場：IJグローバル本社(東京都千代田区)

主催：株式会社IJグローバルソリューションズ

詳細・申込：

[http://www.ijglobal.co.jp/news/event/2016/event\\_20160804.html](http://www.ijglobal.co.jp/news/event/2016/event_20160804.html)

#### ■失敗しない「Web会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー～ビジュアルコミュニケーションツールの選び方をデモを交えてご紹介～

日時：8月・9月

会場：(東京)ブイキューブ本社

(大阪)ブイキューブ大阪営業所

(名古屋)名古屋プライムセントラルタワー

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：

<https://jp.vcube.com/event/seminar/201606151900.html>

#### ■安定した映像・音声品質で、iPadでも快適！Web会議システム「IC3」事例と活用セミナー

[ゲスト講演：ヤマハ株式会社]

日時：8月5日(金)15:30～17:30(受付：15:00～)

会場：キヤノンITソリューションズ本社(東京都品川区)

主催：キヤノンITソリューションズ(株)

詳細・申込：<https://reg.canon-its.co.jp/public/seminar/view/354>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jpサイトの情報もご参照ください。

## 業界の動き

この定期レポートの発行は月2回(プレスリリースと取材)ですが、CNAレポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信・共有しています。よろしければご参照ください。

#### ■フェイスブック(遠隔会議&UCトレンドワッチ)

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

#### ■Twitter(CNAレポート・ジャパン)

<https://twitter.com/cnarjapan>

#### ■メーリングリスト(dtc-forum)

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

## アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_report/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/)

>2014年-2016年：

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_ebook/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/)

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2016年7月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：[cnar@cnar.jp](mailto:cnar@cnar.jp)